

施設名	公津の杜コミュニティセンター		
指定管理者	アクティオ株式会社		
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日	～ 令和 9 年 3 月 31 日	1 年目
施設所管課	市民生活 部	市民協働 課	

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
個人情報保護に関する規程が整備されているか		A	A	
情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構築されているか		A	A	
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
その他	スタッフの健康管理は適切に行われているか	A	A	
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 20 項目・本施設 20 項目)	A		
指定管理者の自己評価	施設の運営と人員の管理については、第3期の初年度にあたり、継続するコロナ禍ではあるが、仕様書、協定書、事業計画書、R4年度の事業計画書の内容を遵守して実行してきた。利用料収入等の金銭管理を含む諸項目の実施について市担当課と緊密に連携しながら実行してきた。危機管理、個人情報保護、情報公開についても整備し、適切に対応してきた。			
施設所管課の評価	施設の運営について、運営業務仕様書、基本協定書、事業計画書に基づき適切な体制のもと実施している。個人情報保護については、管理台帳を作成した上でデータが適切に保管されており、情報漏洩の防止に関する取り組みが適切になされている。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	A	A
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
		苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
備品台帳により記録が適切に保管されているか		A	A	
市と指定管理者の備品が明確に区別されているか		A	A	
必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか		A	A	
その他	利用者に対する感染症拡大防止策を適切にとっているか	A	A	
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 20 項目・本施設 20 項目)	A		

評価	指定管理者の自己評価	予約制度については公平・公正な取扱いを第一義として運用にあっている。主催事業は引き続き地域コミュニティの発展を目指して年度計画を策定したが、継続するコロナ禍で一部未実施となったものもある。運営協議会、アンケート、「ご意見箱」などにより利用者ニーズを捉えて施設運営の改善を図っている。適切な点検、修繕を施し、施設、設備の維持管理の向上に努めている。
	施設所管課の評価	施設の予約や利用等について、公平かつ適切に実施されていた。多様な事業を開催し、チラシの配布などを実施することで、利用者の利用促進や事業への参加促進に努めていた。中間評価において、備品の管理状況が正確に反映されていなかった点については、改善が見られ、適切に備品台帳を記録していることから、評価をAとした。

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
III 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他	駐車場料金徴収代行事務を適切に処理しているか	A	A
	図書館及びなかよしひろばに付随する経理事務を適切に処理しているか	A	A	
【総括 III】	収支等に関する評価(標準 8 項目・本施設 8 項目)	A		
指定管理者の自己評価	コロナ禍の継続ではあったものの収入は100.0%(利用料金収入100.1%)と見込額を達成した。利用料収入の管理、駐車場料金、複合施設からの料金收受を含め、経理業務については運用規則に沿って適正に管理、処理を行っている。年度計画書に基づき、予算管理は適切に実施している。電気代の高騰により、小まめな冷暖房管理や節電対策など、経費削減努力を継続している。			
施設所管課の評価	運営基準に則った利用料金の徴収、減免、還付が適切に処理できており、予算執行についても事業計画に基づいた処理ができていた。また、併設されている図書館及びなかよしひろばに関する維持管理、光熱費等の経理事務を適切に実施していた。			

評価項目	評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価	
IV 目標管理に関する評価	目標①	全室平均稼働率	48%	A	A
	目標②	指定事業の参加率	80%	A	A
	目標③	利用者満足度(アンケート【受付等の対応】「大変満足」+「満足」)	80%	A	A
	【総括 IV】	目標管理に関する評価(標準 3 項目・本施設 3 項目)	A		
指定管理者の自己評価	目標① R04年度の累計稼働率 37.3% (目標稼働率 48%) 目標② R04年度の実施済み受託35事業のうち参加率80%以上が25事業。 25/35=71.4% よって到達目標値80%のため、達成率は71.4/80=89.3% (目標達成率80%) 目標③ 11月実施利用者アンケート(受付等の対応・大変満足+満足 ※無記入を除く)81.7% (目標満足度80%)				
施設所管課の評価	目標②については数値目標には及ばなかったが、目標参加率(80%)の8割である64%に達しており、③についても、数値目標を達成しているため、A評価とした。目標①については、感染症があり、不可抗力と考える。引き続き必要な指導・監督に努めるとともに、利用者サービスの向上に取り組むことを求める。				

V	【総合評価】	I～IVの総括による総合評価	A
---	--------	----------------	---

VI 特記事項	特に評価される点	様々な事業が開催され、コミュニティ活動の拠点施設として良好な管理運営が行われている。また、施設の簡易的な修繕や植栽などは職員やスタッフによって実施されており、経費削減に向けた取り組みがなされている。
	改善が望まれる点	適切な備品台帳の管理を継続していただくとともに、活発なコミュニティ活動の促進に努めていただきたい。